

平成29年改訂学習指導要領の趣旨を踏まえた 学習評価の進め方

中学校 国語科

この資料は、平成29年改訂学習指導要領（以下、学習指導要領）に基づく学習評価を円滑に進めていくための手引きとして、国立教育政策研究所の「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」（以下、「参考資料」）の考え方を基に、佐賀県教育センターが作成したものです。各学校における、指導と評価の一体化に向けた取組の推進にぜひお役立てください。

目次

1	学習評価の基本的な考え方	1
2	学習評価の観点	1
3	中学校国語科における学習評価の進め方	2
4	中学校国語科の目標と評価の観点との関係	3
5	中学校国語科における評価の観点及びその趣旨	4
6	中学校国語科における「内容のまとめり」	5
7	中学校国語科における観点ごとの評価規準作成のポイント及び評価のポイント	5
8	中学校国語科における学習評価の事例	8
9	Q & A	30

1 学習評価の基本的な考え方

○学習評価とは

児童生徒の資質・能力を育成するために、目標に照らして児童生徒一人一人の学習状況を的確に把握すること

○学習評価を行う上で重要なポイント

- ① 児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ② 教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③ これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこと

学習評価を行うに当たっては、児童生徒一人一人の資質・能力を育成できるようにすることが大前提です。そのためには、児童生徒の進歩の状況や教科等の目標の実現状況を適切に把握することが必要です。把握した内容は、児童生徒にフィードバックして児童生徒の学習改善につなげられるようにし、教師は自身の指導改善につなげます。このことなくして児童生徒一人一人の資質・能力の育成は望めません。つまり、学習評価を行う上で、「普段の授業の不断の見直し」が不可欠だと言えます。

○学習評価の機能

指導に生かす評価・・・児童生徒一人一人の学習状況を把握し、児童生徒の学習改善や教師の指導改善につなげるための評価のこと

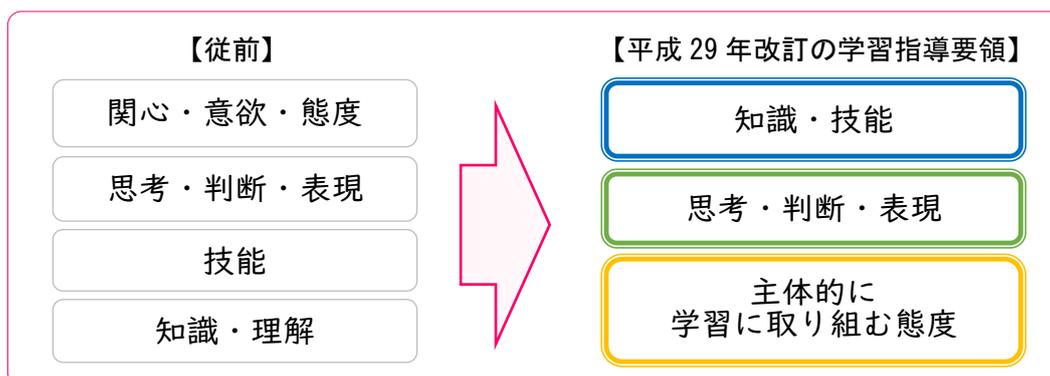
指導に生かす評価の場面は、随時存在します。児童生徒の学習状況を把握し、「おおむね満足できる」状況(B)以上になることを目指して、必要な指導を適宜行います。

記録に残す評価・・・観点別学習状況の評価を総括する際の資料となるよう、学習状況を記録する評価のこと

記録に残す評価の場面は、毎時間設定する必要はありません。児童生徒全員の評価を記録に残す場面を精選することが重要です。単元や題材のまとまりの中で、評価規準に照らして、児童生徒の観点別学習状況を把握し、記録します。

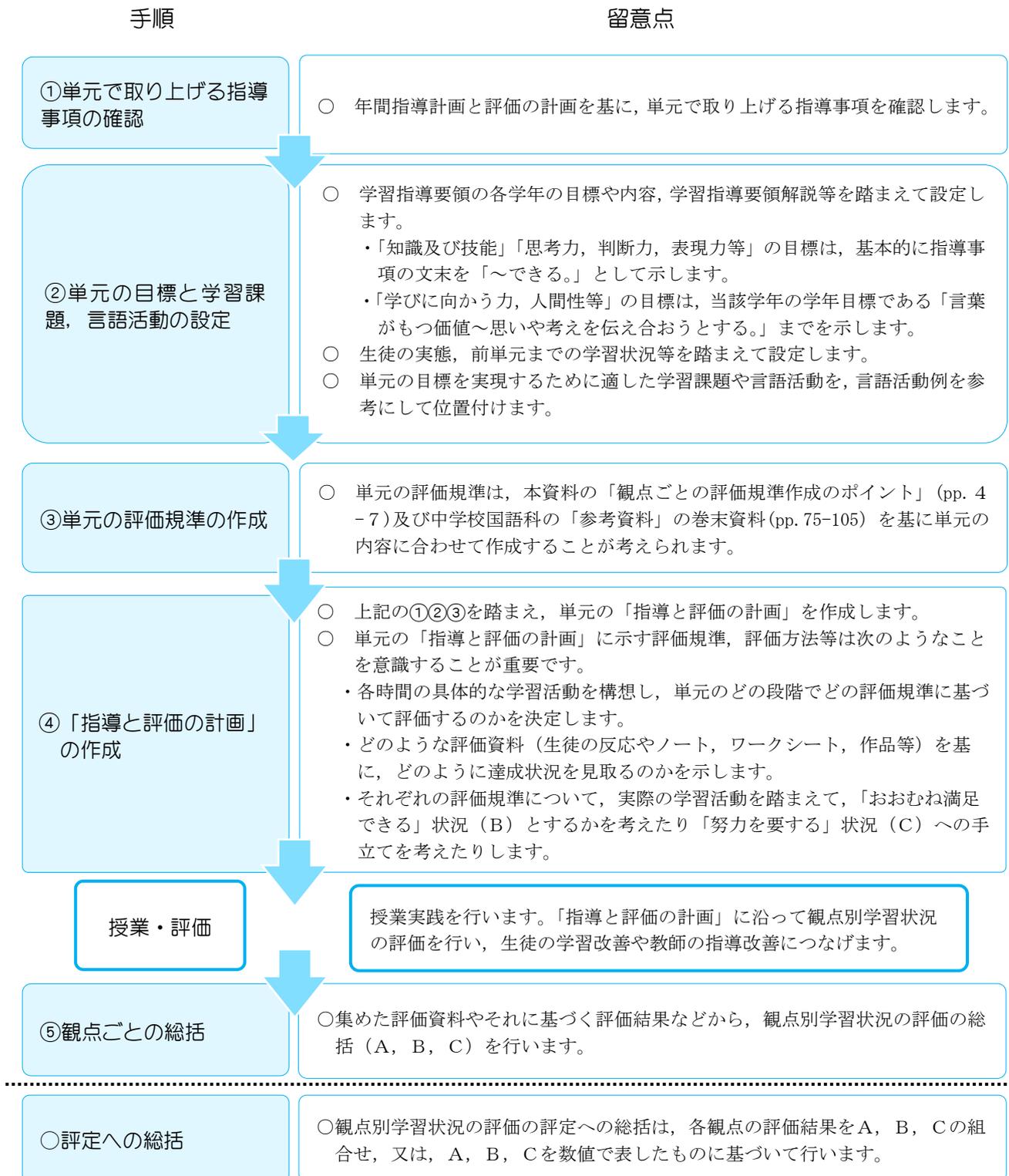
2 学習評価の観点

学習指導要領では、各教科等の目標や内容が、育成を目指す資質・能力の三つの柱を基に整理されました。目標や内容の整理を踏まえ、小・中・高等学校の各教科を通じて、評価の観点も4観点から3観点到整理されました(下図参照)。



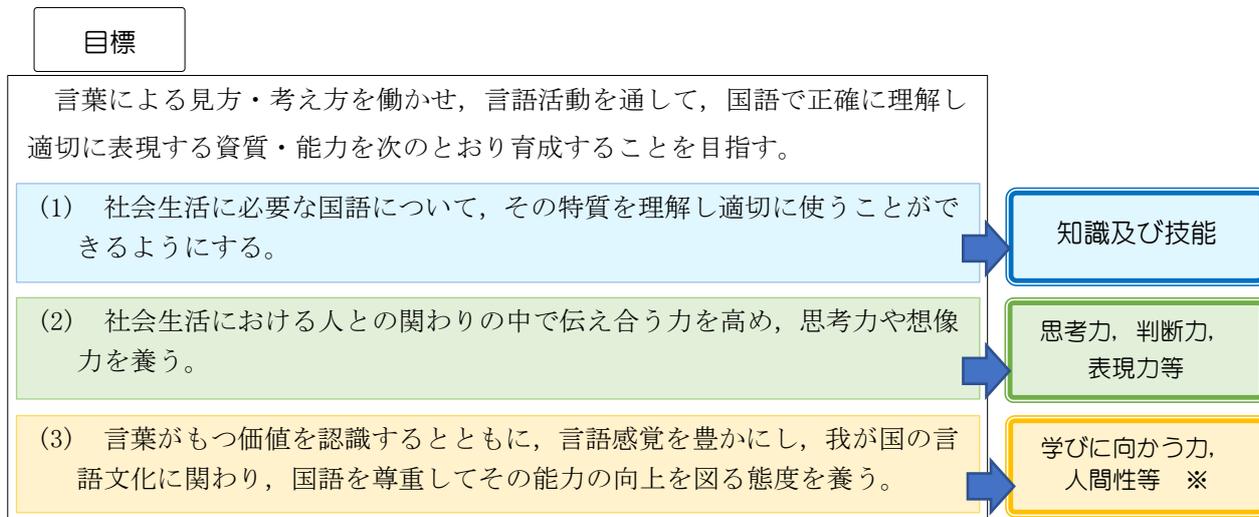
3 中学校国語科における学習評価の進め方

単元における観点別学習状況の評価の進め方（手順）は、基本的に次のような流れになります。観点別学習状況の評価を行う際は、まず、学習指導要領の目標や内容を踏まえ、年間指導計画と評価の計画を確認することが重要です。



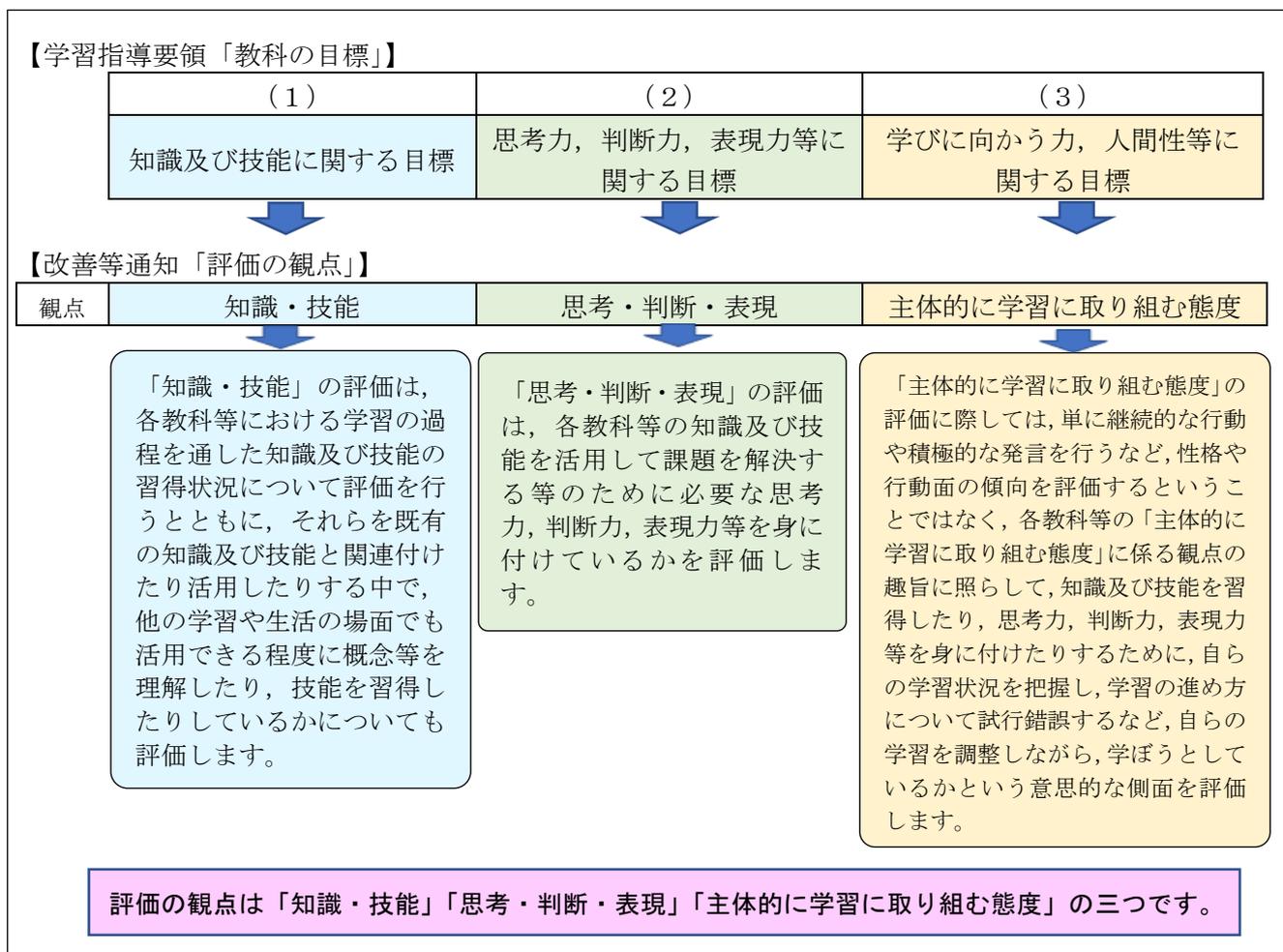
4 中学校国語科の目標と評価の観点との関係

学習指導要領において、全ての教科の目標は、(1)「知識及び技能」、(2)「思考力、判断力、表現力等」(3)「学びに向かう力、人間性等」の三つの柱で整理されました。中学校国語科の目標は次のとおりです。



※ (3)の「学びに向かう力、人間性等」には、①「主体的に学習に取り組む態度」として観点別学習状況の評価を通じて見取ることができる部分と、②観点別学習状況の評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれない部分があるとされています。そのため、評価の観点は、「主体的に学習に取り組む態度」と示されています。

「教科の目標」と「評価の観点」との関係



5 中学校国語科における評価の観点及びその趣旨



「中学校国語科における評価の観点及びその趣旨」と「学年別の評価の観点の趣旨」を確認しましょう。

(1) 評価の観点及びその趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。

(2) 学年別の評価の観点の趣旨

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
第 1 学 年	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道を立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしていく。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
第 2 学 年	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。
第 3 学 年	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、読書を通して自己を向上させ、言葉を適切に使おうとしている。

6 中学校国語科における「内容のまとめり」

中学校国語科における「内容のまとめり」は、次のとおりです。



- (知識及び技能) (1)言葉の特徴や使い方に関する事項
 (2)情報の扱い方に関する事項
 (3)我が国の言語文化に関する事項
 (思考力, 判断力, 表現力等) A話すこと・聞くこと B書くこと C読むこと

観点別学習状況の評価を行う際は、学習指導要領の目標や内容を踏まえ、年間の指導と評価の計画を確認することが重要です。その上で、「内容のまとめりごとの評価規準」(下記7(1))の考え方等を踏まえて進めることが考えられます。進め方の例については、本資料の事例や「参考資料」をご確認ください。

7 中学校国語科における観点ごとの評価規準作成のポイント及び評価のポイント

(1) 内容のまとめりごとの評価規準作成のポイント

①「内容のまとめり」と「評価の観点」との関係を確認します。

〔知識及び技能〕は「知識・技能」、〔思考力, 判断力, 表現力等〕は「思考・判断・表現」と対応しています。

②【作成する際の観点ごとのポイント】を踏まえて「内容のまとめりごとの評価規準」を作成します。

【作成する際の観点ごとのポイント】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・一年間を通して、当該学年に示された指導事項を身に付けることができるよう指導することを基本とします。 ・当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項について、その文末を「～している。」として作成します。 ・育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて評価規準を作成することもあります。 ・指導事項に示された資質・能力を確実に育成するため、基本的には「内容のまとめりごとの評価規準」が単元の評価規準になります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一年間を通して、当該学年に示された指導事項を身に付けることができるよう指導することを基本とします。 ・当該単元で育成を目指す資質・能力に該当する指導事項について、その文末を「～している。」として作成します。 ・育成したい資質・能力に照らして、指導事項の一部を用いて評価規準を作成することもあります。 ・指導事項に示された資質・能力を確実に育成するため、基本的には「内容のまとめりごとの評価規準」が単元の評価規準になります。 ・評価規準の冒頭には、当該単元で指導する領域を「(領域名)において」と明記します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年の「目標(3)」(学習指導要領解説 p.15)や「評価の観点及びその趣旨」(本資料 p.4参照)を用いて評価規準を作成します。 ・粘り強い取組を行おうとする側面と自らの学習を調整しようとする側面を踏まえ、当該単元で育成する資質・能力と言語活動に応じて評価規準を設定します。 ・文末は「～しようとしている。」として作成します。

(2) 学習指導要領の「2 内容」及び「内容のまとめりごとの評価規準(例)」

<第1学年 〔思考力, 判断力, 表現力等〕の「A話すこと・聞くこと」>

(2) ア 紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動

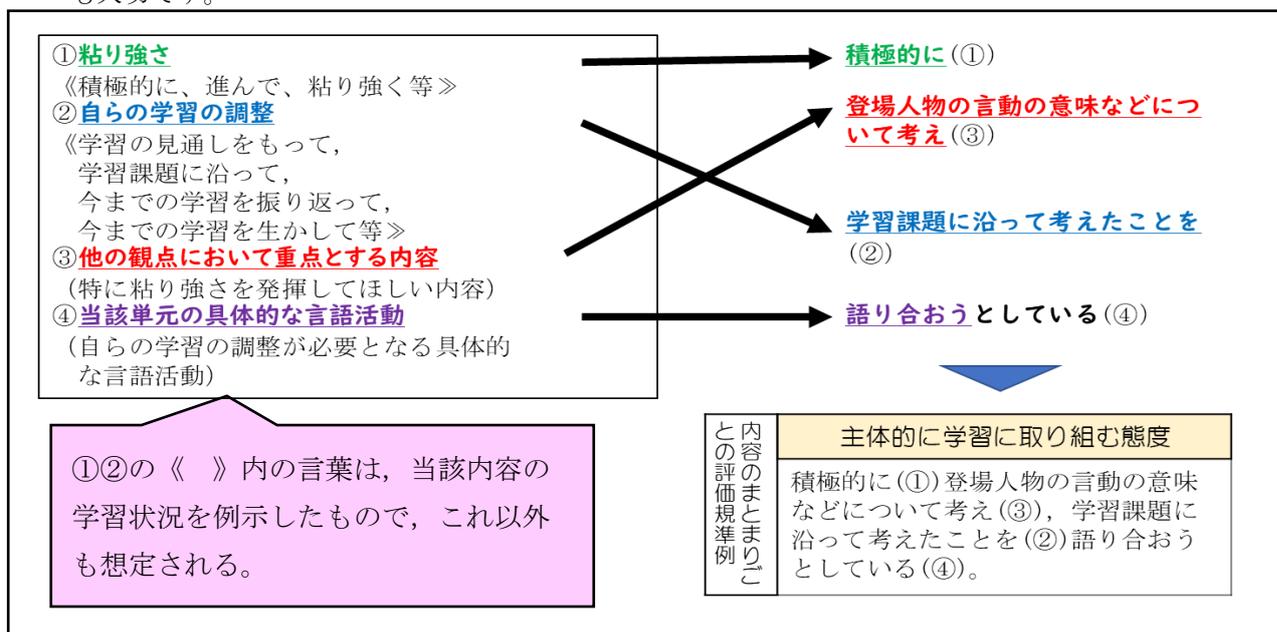
「知識・技能」「思考・判断・表現」の評価規準

学習指導要領 2 内容	知識及び技能	思考力, 判断力, 表現力等
	(1)エ 単語の類別について理解するとともに、 指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めること。	ア 目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。 エ 必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまとめること。

内容のまとまりごとの 評価規準例	知識・技能	思考・判断・表現
	指示する語句と接続する語句の役割について理解を深めている。 (1)エ ※指導事項の一部を用いた例。	・「 話すこと・聞くこと 」において、目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討 している。 (ア) ・「 話すこと・聞くこと 」において、必要に応じて記録したり質問したりしながら話の内容を捉え、共通点や相違点などを踏まえて、自分の考えをまと めている。 (エ)

「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準

- 各学年の「1 目標」を参考にしつつ、必要に応じて改善等通知別紙4に示された学年別の評価の観点の趣旨のうち「主体的に学習に取り組む態度」に関わる部分を用いて「内容のまとまりごとの評価規準」を作成します。
- 下図のように、①知識及び技能を獲得したり、思考力, 判断力, 表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面の双方を適切に評価するため、③粘り強さを発揮してほしい内容と④自らの学習の調整が必要となる具体的な言語活動を考えて授業を構想し、評価規準を設定することが大切です。その際、生徒が学習を振り返ったり、これまでの学習とつないだりすることができるように設定することも大切です。



国語科の指導内容は螺旋的・反復的に繰り返しながら資質・能力の定着を図ることを基本としています。また、一つの指導事項を年間で複数回繰り返して指導することが多いため、指導事項が偏ったり、抜けたりしないように、一年間を見通して単元の目標や評価規準を設定することが重要になります。



(3) 観点ごとの評価のポイント

観点	観点ごとの評価のポイント
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ここでの知識は、単に暗記することに終始するような知識ではなく、日常生活で生きて働く知識として実感的に理解した状況进行评估します。 内容の特質に応じて、資料を用いて発表したり、説明したりする活動を設定し、その中で知識や技能の習得状況进行评估します。
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> 内容の特質に応じて、完成した作品のみで評価せず、下書きやそれまでの学習活動の記録と比較することで、一人一人の思考、判断、表現の状況进行评估します。 ペーパーテストのみならず、論述やレポートの作成、発表、グループでの話し合い等の多様な活動を取り入れたり、それらを集めたポートフォリオを活用したりするなどの工夫が考えられます。
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> 学習計画や学習の振り返りを通して、継続している様子や試行錯誤している様子を読み取り、粘り強さや学習の調整について評価します。どのようなことについて振り返るのか、教師から視点を与えて書かせることも大切です。 ノートやレポート等言語活動の際の記述、授業中の発言、教師による行動観察等を教師が評価を行う際に考慮する材料の一つとして用いることなどが考えられます。

学習評価を行うに当たって

どの観点を評価するにせよ、「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」のいずれにおいても、次の二つのことを念頭に置いて、評価しましょう。

☑授業中の生徒の取組の様子、発言やつぶやきの内容、記述内容などから生徒の学習状況を見取る中で、評価規準に照らして、「努力を要する」状況（C）になりそうな生徒を見だし、適切な手立てを取って「おおむね満足できる」状況（B）となるようにすること。

☑評価結果は、総括のためだけでなく、生徒の学習改善と教師の指導改善に生かすこと。

下図に示すように、毎時間生徒全員について記録をとることは現実的ではないので、計画的に評価を行いましょう。

単元	指導に生かす評価	記録に残す評価
1時目 2時目 3時目 ・ ・ ・ ・	<p>毎時間、あらかじめ決めておいた評価の観点とその規準で「指導に生かす評価」を行い、それを指導改善や学習改善に生かします。</p>	<p>いくつかの時間では、単元における観点別学習状況の評価の総括を行うために、学習の実現状況が把握できる段階で、「記録に残す評価」として、以下の3段階で評価を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「十分満足できる」状況（A） ・「おおむね満足できる」状況（B） ・「努力を要する」状況（C） <p>「記録に残す評価」では、全員の学習状況を記録します。</p>

8 中学校国語科における学習評価の事例

事例1 キーワード 読むこと、物語の構成と展開

1 単元名 「物語の構成や展開の工夫について語ろう」

教材名 「少年の日の思い出」(教育出版・三省堂・東京書籍・光村図書)

2 内容のまとめ

第1学年

〔知識及び技能〕

(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項

〔思考力、判断力、表現力等〕 「C読むこと」

3 単元の目標

(1) 事象を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにすることができる。

〔知識及び技能〕(1)ウ

(2) 場面の展開などについて、描写を基に捉えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)イ

(3) 文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えることができる。

〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)エ

(4) 言葉がもつ価値に気付くとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

〔学びに向かう力、人間性等〕

4 生徒に提示する学習課題

この単元では、物語の構成や展開の工夫について自分の考えをもつ学習をします。

課題は、「少年の日の思い出」の構成や展開の工夫を、読んだことがある他の物語と比べて見付け、語り合うことです。

5 本単元における言語活動

作品の構成や展開の工夫を、読んだことがある他の物語と比べて見付け、語り合う。

(関連する言語活動例：〔思考力、判断力、表現力等〕C(2)イ)

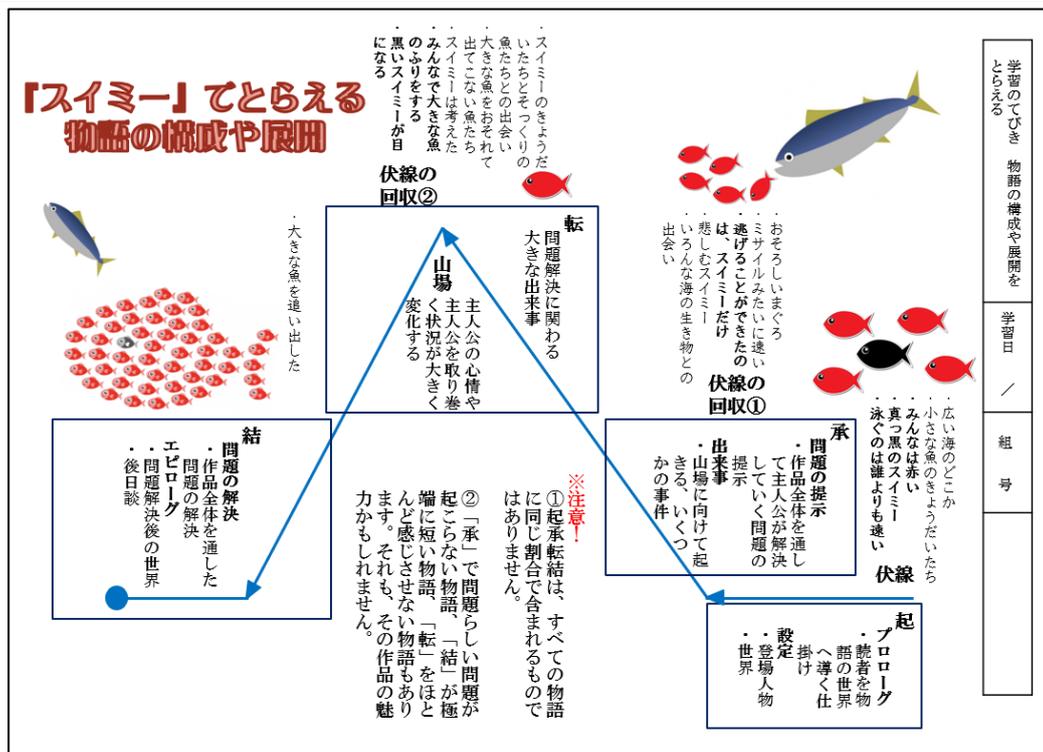
6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①事象を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して、語彙を豊かにしている。(1)ウ)	①「読むこと」において、場面の展開などについて、描写を基に捉えている。(C(1)イ) ②「読むこと」において文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(C(1)エ)	①構成や展開に関わる語彙を豊かにすることに粘り強く取り組み、 <u>今までの学習を生かして、文章の構成や展開についての解説を考え、書こうとしている。</u> ※ <u> </u> 部…粘り強さ <u> </u> 部…自らの学習の調整

7 単元の指導と評価の計画(6時間)

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>○授業者が示す、構成や展開の工夫が作品の良さにつながっている例を読み、学習課題と中心となる言語活動を知る。</p> <p>○『大造じいさんとガン』『海の命』について書かれた言語活動のモデル(p.11 資料2)を読み言語活動のイメージをもつ。</p> <p>○『スイミー』を読み、「学習のてびき」(次ページ資料1)に基づいて物語の構成や展開についての学習用語を学ぶ。</p> <p>○言語活動のモデル(p.11 資料2)について、学習用語が用いられている部分を探し、傍線を引き学習用語の使い方を確認する。</p> <p>○学習計画表に基づいて、学習の見通しと自分の問いをもつ。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が、単元を学習する価値について自覚できるように、新聞の書評や映画評等を用いて、構成や展開の工夫が作品の良さにつながっている例を示す。 言語活動のイメージをもたせるために、既習作品を用いた言語活動のモデルを作成し、示す。 「学習のてびき」を用いて、生徒が数年にわたって学習してきた構成や展開に関わる学習用語を整理し、示す。 	<p>ここでは、「記録に残す評価」のみを位置付けているが、学習内容を確実に習得できるようにするため、「指導に生かす評価」を単元を通して適宜行う。</p> <p>本時においては、記録に残す評価は行わないが、学習計画表の振り返りの欄に、自身の課題を記述させ、学習の調整の側面を評価できるようにしておく。</p> <p>[知識・技能] ① <u>学習シート②の記述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 作品の構成や展開に関する学習用語を理解し、あらすじをまとめることに生かしているかを、学習シート②で確認する。
2	<p>○全文を構成や場面の展開の工夫に注意して読む。</p> <p>○学習シート②(p.11 資料3)を用いてあらすじを確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 学習シート②の作成時には、学習シート②に示している記入例だけではなく、前時に用いた「学習のてびき」を参照するように声を掛ける。 	<p>[思考・判断・表現] ① <u>学習シート②の記述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の展開などについて、描写を基に捉え、学習のてびきで示した「起承転結」の定義を用いてあらすじをまとめているかを、原稿用紙前半の記述から判断する。
3	<p>○「少年の日の思い出」から、構成や場面の展開で工夫されている部分を見付け、まとめる。(原稿用紙前半)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 工夫されている部分を見付けた生徒には、その部分についての自分の問いをもつように促す。 工夫されている部分を見付けられない生徒には、注目するとよい場面や使えそうな学習用語を示す。 	<p>[思考・判断・表現] ① <u>学習シート②の記述</u></p> <ul style="list-style-type: none"> 場面の展開などについて、描写を基に捉え、学習のてびきで示した「起承転結」の定義を用いてあらすじをまとめているかを、原稿用紙前半の記述から判断する。

4	<p>○まとめた部分について、自分の考えを書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、印象に残ったのか理由が分かるように書く。 ・自分が構成や場面の展開の工夫が印象的だと思った部分で感じたことが伝わるように書く。 ・原稿用紙後半にまとめる。(前時と合わせて、およそ四百字) 	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の手掛かりになるように、書評を基にした構成や展開についての評価語彙一覧を配付する。 ・書き進めることができない生徒には、言語活動のモデルで示したものの以外のモデルを示す。 	<p>[思考・判断・表現] ② 原稿用紙後半の記述</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の構成や展開についての学習用語や評価語彙を適切に用いて、根拠が明確な解説を書いているかを、原稿用紙後半の記述から読み取る。
5	<p>○まとめた場面の展開や構成の工夫についてグループで交流する。</p> <p>○交流を踏まえて、よりふさわしい表現を用いて、まとめを清書する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・発表は、原稿用紙にまとめたものを読み上げるだけではなく、教科書を用いて分かりやすく伝えることができるように助言する。 	<p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 原稿用紙の記述と観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流を通して、解説の書き改める部分を決定し、これまでに用いた学習のてびきや学習シートを見返しながら、書こうとしているかを見取る。
6	<p>○清書されたものを綴った冊子を読み単元を振り返る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の記述の中で、根拠を明確にして、適切に評価語彙を用いて書いているものを取り上げ、講評する。 	



資料1 学習のてびき

<p>『海の命』の構成や展開の工夫で、味わってほしいのはココです！</p> <p style="text-align: center;">1年〇組◇◇ ◇◇</p> <p>「結」で、父の死、与吉じいさの元での修行、巨大なクエとの対決といった、緊張感のある展開が一気にほどこけ、母の表情が示しているようなおだやかで満ち足りた様子になったところ</p> <p>解説 この話は山場までは、父を殺したクエに復しゅうしようとする話だ。母は、太一の心が見えるようで、おそろしくて夜もねむれないと言っている。太一はクエに面と向かってから殺すべきか悩んでいる。そしてクエを殺さなかった。生き物は海の命でつながっているということに気づいたのだ。だからこそ、このおだやかな結末なのだ。 234文字</p>	<p>『大造じいさんとガン』の構成や展開の工夫で、味わってほしいのはココです！</p> <p style="text-align: center;">1年〇組◇◇ ◇◇</p> <p>大造じいさんが残雪に勝つために、つりばりの計略、たにしをまいてのえさ場づくり、おとりのガンを放つ作戦と起承転結の承から転の部分で出来事を積み重ねていくところ</p> <p>解説 出来事が積み重なる度に、大造じいさんの残雪に対する憎しみがじりじりと大きく燃えあがっていくようで、読んでいて、いつ残雪が大造じいさんに撃たれるのかと手に汗を握った。しかし、転の山場の部分は大造じいさんと残雪の戦いではなく、残雪とハヤブサの戦いという予想外の展開に驚かされた。 215文字</p>	学習シート② 物語の構成や展開の工夫について語ろう 学習日 / 組 号
---	---	---

この單元では、はじめに小学校で習った作品を使って構成や展開の工夫を読み取る練習をします。最後に、左に示したような構成や展開の工夫の紹介を、『少年の日の思い出』で書き、交流します。

資料2 言語活動のモデル

<p style="text-align: center;">結</p> <p>問題の解決 ・作品全体を通した問題の解決 エピソード ・課題解決後の世界 ・後日談</p>	<p style="text-align: center;">転</p> <p>問題解決に関わる大きな出来事 山場 主人公の心情や主人公を取り巻く状況が大きく変化する</p>	<p style="text-align: center;">承</p> <p>問題の提示 ・作品全体を通して主人公が解決していく問題の提示 出来事 ・山場に向けて起きる、いくつかの事件</p>	<p style="text-align: center;">起</p> <p>設定 ・登場人物 ・世界 ・プロローグ ・読者を物語の世界へ導く仕掛け</p>	学習シート② 物語の構成や展開の工夫について語ろう 学習日 / 組 号
<p>結について理解を深めるための質問</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 問題は何のように解決されましたか？ ② 変化したのは主人公ですか？ 登場人物が生かす世界ですか？ ③ ②の変化はどのような変化ですか？ ④ エピソードはありますか？ どのような働きをしていますか？ 	<p>転について理解を深めるための質問</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 問題は主人公にどのような影響を与えていますか？ ② 問題解決に関わる大きな出来事はどのような主人公を理解するのに役立ちましたか？ ③ 山場までに、問題の解決策について、作者はどのような手掛かりを与えていますか？ 	<p>承について理解を深めるための質問</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 作品全体を通して主人公が解決していく問題は何か？ ② 問題には他にどのような登場人物が関わっていますか？ ③ 物語の中で起こった問題の原因は何ですか？ ④ 問題の解決策として考えられるものは何ですか？ 	<p>起について理解を深めるための質問</p> <ol style="list-style-type: none"> ① プロローグはありますか？ どのような働きをしていますか？ ② 主な登場人物は誰ですか？ ③ 主な登場人物の特徴や人間関係はどのようなものになっていますか？ ④ 主人公はどのような問題を体験する可能性がありますか？ ⑤ 登場人物が生活する世界はどのようなものですか？ 	

物語の構成や展開の工夫に気づくために、次の質問を意識しながら「少年の日の思い出」を再読しましょう。また、ひとつの部分だけではなく、部分と部分のつながりも考えて読みましょう。

資料3 学習シート②

8 観点別学習状況の評価の進め方

(1) [知識・技能] の評価

[知識・技能] ①
事象を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語彙を豊かにしている。(第2時)
 「十分満足できる」状況(A)
 (B)に加えて、あらすじをまとめる中で、新たに学んだプロローグや伏線、エピローグなどの学習用語を適切に用いている。
 「おおむね満足できる」状況(B)
 学習のてびきで示した「起承転結」の定義に基づいて、あらすじをまとめる中で、作品の構成や展開に関する学習用語を適切に用いている。
 「努力を要する」状況(C)
 (B)に達していない。

作品の構成や展開に関する学習用語を理解し、あらすじをまとめることに生かしているかを、学習シート②を使い、第2時に評価しました。

【生徒Xの学習シート②の記述】

<p>結 蝶を指で粉々にした。</p>	<p>山場 一度起きたことは、もう償いのできないものだということを悟った。</p>	<p>転 エーミールがクジャクヤママユを手に入れたので見に行く。 勝手に部屋に入って、主人公は、蝶を盗んだ。しかも、バラバラにしてしまう。 エーミールに自分がしたことを詳しく話し、説明した。</p>	<p>承 隣のエーミールは、貧弱だけどこぎれいで正確な手入れをされた宝石のような収集をしている模範少年。 問題の提示 主人公は、彼を妬み、嘆賞しながら憎んでいた。 その少年に自分の獲物を否定された。</p>	<p>起 主人公の少年時代 ・蝶集めにひどく心を打ちこんでしまう。</p>
--------------------------------	--	--	--	--

生徒Xは、前時に学んだ「起承転結」の定義に基づいて全体を四つの部分に分け、「問題の提示」等の既習の学習用語を用いて、「少年の日の思い出」のあらすじをまとめることができていました。よって「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。

【生徒Zの学習シート②の記述】

<p>結 自分の収集を粉々にした。</p>	<p>転 エーミールがクジャクヤママユを手に入れた。主人公は、盗んでしまう。 謝りに行くが、許してもらえない。 ○一度起きたことは、もう償いのできないものだと思った。</p>	<p>問題 僕は妬み、嘆賞しながら彼を憎んでいた。</p>	<p>承 主人公の道具は、幼稚な設備で人に自慢できるものではなかった。 近所の少年(エーミール)の収集は、こぎれいで手入れが正確、宝石のようだった。あらゆる点で模範少年だった。 その少年に自分の獲物を否定された。</p>	<p>起 プロローグ 蝶集めに夢中だった友人の告白。 彼の少年時代 ← 最初はやりだつたから始めたが、やがて蝶集めのとりこになつてしまう。</p>
----------------------------------	--	--	---	--

生徒Zは、「起承転結」を適切に捉え、さらに「起」の部分に着目し、新たに獲得した「プロローグ」という学習用語を用いてあらすじをまとめることができていました。よって「十分満足できる」状況(A)と判断しました。

指導に生かす評価については、生徒があらすじを書き進める中で行いました。「努力を要する」状況(C)と判断した生徒に対しては、「起承転結」のどの部分で誤っているかを指摘し、学習のてびきを再度確認させました。その後、理解できていない部分を指導し、理解したことを基に書き改めるように助言を行い、「おおむね満足できる」状況(B)に近付くようにしました。

(2) [思考・判断・表現] の評価

[思考・判断・表現] ①

「読むこと」において場面の展開などについて、描写を基に捉えている。(第3時)

「十分満足できる」状況(A)

(B)に加えて、「少年の日の思い出」の特徴である回想、欠けている額縁構造、プロローグにおける伏線等、作品の特徴であり主題に結び付く部分を取り上げている。

「おおむね満足できる」状況(B)

描写を手掛かりにして、作品から構成や展開の工夫がある部分を抜き出し、構成や展開についての学習用語を用いて、まとめている。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

場面の展開などについて、描写を基に捉え、学習のてびきで示した「起承転結」の定義を用いてあらすじをまとめているかを、原稿用紙前半の記述から、第3時に評価しました。

生徒Xは、最初は誰にも会わずに部屋に入れたが、盗んで帰るときに下からの人の気配を感じたという展開に注目し、主人公が蝶を盗む部分を選ぶことができます。また、この部分について「山場につながる重要な展開」と学習用語を用いて表現することもできます(____部)。しかし、この部分は、多くの生徒が選んだ部分ではありますが、他の小説にはあまり見られないような作品の特徴があったり、主題との結び付きが強かったりする部分とは言えません。よって「十分満足できる」状況(A)ではなく、「おおむね満足できる」状況(B)としました。

生徒Zは、プロローグに着目し、友人同士の語り合いの現在から始まった物語が、回想を経て、「現在のエピローグで結ばれると思っていたらそうはならない構成」とし、この作品の額縁構造の特徴に気付いています(____部)。よって「十分満足できる」状況(A)と判断しました。

指導に生かす評価については、生徒が原稿を書き進める中で行いました。「努力を要する」状況(C)と判断した生徒には、主人公が蝶を盗む場面を展開の工夫がある部分として例示し、その部分について考えてみるよう助言を行い、「おおむね満足できる」状況(B)に近付くようにしました。

解説
誰にも会わずに、エーミールの部屋に入ることができた主人公は、クジヤカヤママユを盗んだ時には、満足感しか感じていなかった。私は、いつ彼の盗みが誰かに見つかるかと思いき、最初から緊張して読んでいたので、「満足」という言葉に驚いた。しかし、彼は、階下からの人の気配で自分の罪の大きさに気付き、ひどく緊張する。私もお手伝いさんが上がってくるところでは、息が止まるような緊張を感じた。そこで彼と気持ちが重なった。この小説は、盗みをしたのに満足している主人公のずれている感覚が、緊張感の頂点で読者の感覚と重なり、その後の展開を早く読みたいという気にさせる作品だ。

【生徒Xの原稿用紙の記述】
『少年の日の思い出』の構成や展開の工夫で、味わってほしいのはココです！
主人公は、最初は誰に出会うこともなく、簡単にエーミールの部屋に入ることができた。しかし、部屋を出て帰る時に、階段の下の方に人の気配を感じる。この部分は、エーミールに謝りに行くという作品の山場につながる重要な展開になっている。ここを味わってほしい。

解説
大人になった主人公は、その友人と蝶について語り合う。それがこの作品のプロローグだ。大人になった現在から、蝶集めに夢中になった過去に物語は展開する。それが主人公の少年時代であり、少年の日の思い出になっている。僕は、この回想の部分が終わったら、また現在に戻って、「だから、もう蝶集めは、やめたんだよ」とか話すのではないかと思っていた。しかし、意外なことに、そのような部分はなく、過去のままた話は終わってしまった。

【生徒Zの原稿用紙の記述】
『少年の日の思い出』の構成や展開の工夫で、味わってほしいのはココです！
聞という言葉は何度も繰り返すプロローグが印象的だった。友人同士が語り合う、現在の場面から過去の回想がはじまったので、終わりは、また現在に戻り友人同士で語り合うのかと思っていたら、そのようなエピローグはなかった。現在のエピローグで結ばれると思っていたらそうはならない構成の意外性を読んでほしい。

[思考・判断・表現] ②

「読むこと」において文章の構成や展開について、根拠を明確にして考えている。(第4時)

「十分満足できる」状況(A)

(B)に加えて、解説を構成や展開についての評価語彙を効果的に用いて書いている。

「おおむね満足できる」状況(B)

解説を構成や展開についての学習用語と作品の構成や展開についての評価語彙を適切に用いて書いている。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

文章の構成や展開についての学習用語や評価や語彙を適切に用いて、根拠が明確な解説を書いているかを、原稿用紙後半(p.13)の記述から、第4時に評価しました。

生徒Xは、[思考・判断・表現]①の評価においては、作品の特徴的な部分をつかむことができていませんでした。しかし、この[思考・判断・表現]②では、「息が止まるような緊張を感じた」と、それまで満足感しか感じていなかった主人公の心情が、階下の人々の気配を感じたとたんに大きく変化することを捉えて解説を書いています。さらに、蝶を盗んでも満足感しか感じていない主人公に対して、違和感を覚えたことを記述し、最後に人の気配を感じた瞬間に、主人公の緊張感が「読者の感覚と重なると記述し(p.13【生徒Xの原稿用紙の記述】の___部)、そのずれの面白さを評価しています。よって「十分満足できる」状況(A)と判断しました。

生徒Zは、[思考・判断・表現]①の評価においては、作品の特徴的な部分をつかむことができていましたが、この自分の考えを述べる部分では、[思考・判断・表現]①で用いた学習用語を繰り返し、作品の構成や展開についての評価語彙としては、「意外な」を付け加えるだけでした(p.13【生徒Zの原稿用紙の記述】の___部)。よって「十分満足できる」状況(A)ではなく、「おおむね満足できる」状況(B)としました。

指導に生かす評価については、生徒が原稿を書き進める中で行いました。「努力を要する」状況(C)と判断した生徒には、モデルの読み返しや、前時に使用した書評の語彙を示して、使えそうな言葉を例示する等の助言を行い、「おおむね満足できる」状況(B)に近付くようにしました。

(3) [主体的に学習に取り組む態度] の評価

[主体的に学習に取り組む態度]

構成や展開に関わる語彙を豊かにすることに積極的に取り組み、今までの学習を生かして、文章の展開や構成についての解説を書こうとしている。(第5時)

「十分満足できる」状況(A)

(B)に加えて、自分が書いた構成や展開についての解説を、何回も読み直し推敲しようとしている。

「おおむね満足できる」状況(B)

交流を通して、構成や展開についての解説の書き改める部分を決定し、これまでに用いた学習のてびきや学習シートを見返しながらかき、書こうとしている。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

交流の様子や原稿用紙の記述を中心に、第5時に評価しました。

例えば、「おおむね満足できる状況」(B)としては、前時で書き終えた解説の下書きについて、交流を通して書き改めたい部分を決定し、何度も学習のてびきや学習シートを見返している姿から積極性を確

認しました。また、学習のてびきで学習用語の定義を再確認したり、学習シートを用いて物語を解釈し直したりして、解説を書こうとしている姿によって、学習を調整しているかどうかを見取りました。

さらに、自分が書いた構成や展開についての解説を、何回も読み直し丁寧に推敲しようとしている姿を、「十分満足できる状況」(A)として、下書きと清書を比較することによって捉えました。

指導に生かす評価については、生徒が交流と推敲を進める中で行いました。交流に積極的に取り組めなかったり、自分が書いた構成や展開についての解説を書き改めることができなかったりする生徒については、「努力を要する状況」(C)と判断し、この学習に取り組む意義について再度説明を行ったり、理解が十分ではないと思われる部分について解説を行ったりすることで、「おおむね満足できる」状況(B)に近付くようにしました。

事例2 キーワード…「書くこと」の評価, 意見文を書く

1 単元名 『〇〇〇〇』について説得力のある意見文を書き, 新聞に投稿しよう

教材名 「根拠を明確にして意見を書こう」(光村図書)

2 内容のまとめ

第2学年

〔知識及び技能〕 (2) 情報の扱い方に関する事項

〔思考力, 判断力, 表現力等〕 「B書くこと」

3 単元の目標

(1) 意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解することができる。

〔知識及び技能〕 (2) ア

(2) 根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり, 表現の効果を考えて描写したりするなど, 自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。

〔思考力, 判断力, 表現力等〕 B (1) ウ

(3) 表現の工夫とその効果などについて, 読み手からの助言などを踏まえ, 自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。

〔思考力, 判断力, 表現力等〕 B (1) オ

(4) 言葉がもつ価値を認識するとともに, 読書を生活に役立て, 我が国の言語文化を大切にして, 思いや考えを伝え合おうとする。

「学びに向かう力, 人間性等」

4 生徒に提示する学習課題

この単元では, 選んだテーマについて自分の意見を持ち, 意見の根拠となる情報を選び, 構成を工夫して意見文を書く学習をします。課題は, 自分の意見とつながる情報を選択し, 自分の意見で相手を説得できるような文章を書くことです。

5 本単元における言語活動

自分の意見を持ち, 説得力のある意見文を書く。

(関連する言語活動例:〔思考力, 判断力, 表現力等〕 B (2) ア)

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①意見と根拠, 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(2) ア)	①「書くこと」において根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え, 自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。(B (1) ウ) ②「書くこと」において読み手からの助言などを踏まえ, 自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B (1) オ)	①根拠や具体例の適切さについて <u>学習計画に沿って</u> , <u>粘り強く検討し</u> , 構成や表現を工夫したり, 友達の意見を参考にしたりして説得力のある意見文を書こうとしている。 ※ <u> </u> 部…粘り強さ <u> </u> 部…自らの学習の調整

7 単元の指導と評価の計画（5時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>○提示された実際の新聞掲載の意見文を読み，学習課題や言語活動を知り，学習の見通しをもつ。</p> <p>○提示された二つの意見文を比べ，説得力のある意見文を書くために必要なことに気付く。</p> <p>○気付いたことを基に，意見文を書くためのポイントを確認する。</p> <p>○身の回りの事象についてウェビングで広めたテーマについて，更に深めたいことについてタブレット端末等を使って調べる。</p>	<p>・説得力のある意見文を書く学習の見通しをもたせるために，新聞に掲載された実際の意見文をいくつか示す。</p> <p>・二つの意見文を提示し，説得力のある意見文とそうではない意見文は，どのようなところが違うのかを考えさせるようにする。</p> <p>・説得力のある意見文を書くことができるように，根拠，具体例，事実，数値などのデータ，構成の工夫などがあることを確認する。</p> <p>・「環境問題」「フードロスの問題」等のテーマを提示し，ウェビングを使い，生徒の考えを引き出し，その中から自分のテーマを選択できるようにする。</p>	<p>ここでは、「記録に残す評価」のみを位置付けているが，学習内容を確実に習得できるようにするため，「指導に生かす評価」を単元を通して適宜行う。</p> <p>[知識・技能] ① 学習様子の観察，学習シート①の記述（p. 19 資料1）</p> <p>・意見を支える根拠に具体例や事実，数値などがあることに気付いているかを確認する。</p> <p>[知識・技能] ① 学習様子の観察，学習シート②の記述</p> <p>・意見文のテーマを選び，更に深まるように情報を集めているかを確認する。</p>
2	<p>○テーマに対する自分の意見を支える根拠や具体例，事実などをワークシートに書き，整理する。</p>	<p>・ポイントについては，再度提示し，確認できるようにする。</p>	<p>[思考・判断・表現] ① 下書き原稿の記述（p. 20 資料2）</p>

	○タブレット端末等を使い，自分の意見に合った根拠や具体例，事実などを調べる。	・自分の意見の根拠となる具体例，事実，数値などについて，タブレット端末等で情報を確かなものにできるように声を掛ける。	・意見の根拠として具体例や事実，数値などを挙げ，意見が伝わりやすくしているかを見取る。
3	○文章構成を決める。 ○意見文を書く。(四百～五百字)	・学習のてびきで示している頭括型，尾括型，双括型の中で，生徒が選んだテーマに合った形式を選ぶように指示する。	本時においては，B(1)ア，イに基づいて学習状況を捉え指導を行うが，単元の目標としていないことから，本単元の評価には，含めない。ただし，学習計画表(p. 23 資料4)の振り返りの欄に自身の課題等を記述させ，学習の調整の側面を評価できるようにしておく。
4	○グループ内で相互交流をして，よい点や改善点を見付ける。 ○友達にもらった意見を参考に推敲し，清書をする。	・よい点，読みにくい点や分かりづらい点に色ペン(赤，青2色)で線を引いてコメントを書かせ，友達の意見文が説得力のある意見文になるようにする。	[思考・判断・表現] ② <u>推敲した文章の記述</u> (p. 21 資料3) ・友達の意見を基に，読み手に自分の意見が伝わる表現になるように推敲しているかを見取る。
5	○出来上がった意見文の相互評価を行う。 ○学習を振り返って，単元で身に付けた力を確かめる。	・学級全員分の意見文を冊子にして渡し，評価表にコメントを書かせる。 ・生徒自身が本単元でできるようになったと実感したことを具体的に書かせ，今後の生活で生かすことができるようにする。	[主体的に学習に取り組む態度] ① <u>学習様子の観察，学習計画表の記述</u> (p. 23 資料4) ・2～4時で推敲し，仕上げた文章を読み合い，自分の学習を振り返り，身に付けた力を実感できているかを読み取る。

8 観点別学習状況の評価の進め方

(1) [知識・技能] の評価

[知識・技能] ①

意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。(第1時)

「十分満足できる」状況(A)

文章の中から、情報を読み取ったことに加え、根拠や事実として付け加えた方がいいと考えられることを挙げ、よさを説明している。

「おおむね満足できる」状況(B)

意見を裏付けるために適切な根拠を挙げている。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

説得力のある意見文を書くために必要なことに気付かせる学習を行った第1時に評価しました。学習シート①(資料1)を使い、評価をします。

資料1の学習シートで(a)と(b)の例文から、説得力のある意見文(b)を選び、そのよさを資料1緑枠部に文章の中から読み取って見付けたよさが書けている生徒を「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。指導に生かす評価については、(a)の例文を選んだ生徒を「努力を要する」状況(C)と判断し、(a)の文末や具体的な根拠の部分に着目させ、相手を説得できるかという視点で(b)と比較させながら考えさせました。また、資料1緑枠部が全く書けていない生徒を「努力を要する」状況(C)と判断し、意見の部分に線を引かせ、それ以外にどのようなことが書かれているかを確認して書くように指導し、「おおむね満足できる」状況(B)に近付くようにしました。

(B)の状況を満たし、引用など今までの読書体験から記述ができていない生徒、見付けたよさを書いて、更にその効果まで説明することができていない生徒を「十分満足できる」状況(A)と評価しました。

<p>学習シート① 自分の考えをもち、説得力のある意見文を書こう</p>	<p>学習日 /</p>	<p>組号</p>	<p>次の二の意見文をくらべてみよう。説得力があるのはどちらだと思いますか。また、それはなぜでしょうか。どのようなところがいいのでしょうか。良い点を挙げましょう。</p> <p>(a) ここ数年、佐賀県をPRしようという企画がニュースで取り上げられているように思う。その効果として、ゲームやアニメなどの作品とコラボし、聖地巡礼によってたくさんのお金を使う。観光客は、それぞれの場所でお金を使うと思うし、たぶん、その土地をいいと感じてくれると思う。だから、いろいろな作品やキャラクターとコラボすることは、とてもいいことだと思う。今後もゲームやアニメとコラボを続けていくといいと思う。</p> <p>(b) 佐賀県を活性化するためには、どんな方法があるだろうか。ここ数年、佐賀県をPRしようという企画がニュースで取り上げられている。例えば、唐津市は、テレビアニメ「ユリ!!! on ICE」の主人公の出身地のモデルとされた。実際、唐津市では、ファン「聖地巡礼」で盛り上がり、放送終了から二年間でファン約六万人が市を訪れ、この約四割が市内に宿泊。約四億円以上の直接経済効果があった。(〇〇新聞2018.11.18)</p> <p>これに対し、観光客の増加により、マナーの悪化が目立ち、美しい環境が保てないとの意見があるかもしれない。しかし、環境については、呼びかけをしたり、ゴミ箱を設置したりして工夫をすれば、美しさを保てると思う。</p> <p>アニメや映画の聖地をつくることで観光客が増え、経済効果も高まることで、県内が活性化できると考える。</p>
<p>〇意見文を書くために見つけた良かった点を生かしましょう。</p> <p>〇意見文を書く時に生かしたところは、〇を赤ペンでぬりましょう。</p>	<p>★説得力があるのは、(b)だと思う。</p> <p>★()の良かったところ</p> <p>〇具体例(身近に感じられ、納得でき)るため、信頼できる情報</p> <p>〇データにある具体的な数値(調査しているため、信頼できる情報)</p> <p>〇情報を引用している。(考えを裏付けできる)</p> <p>〇文体、文末の工夫(Aは思うのみ)</p> <p>〇問いかけをしているので、引き込まれる。</p> <p>〇反論を想定している(それに反論し、自分の意見にし、反対の立場の人にも納得してもらえ)</p> <p>〇結論が書いてある</p> <p>〇構成がきちんとしている</p>		

資料1 学習シート①

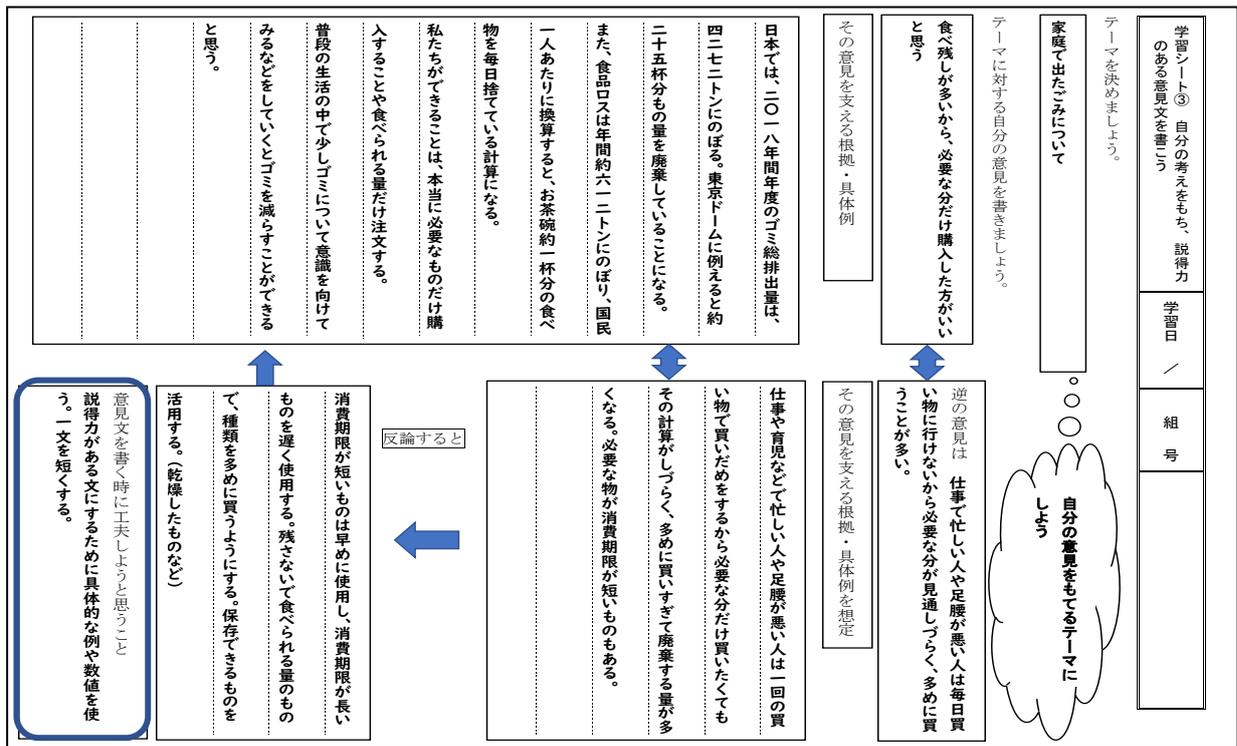
(2) [思考・判断・表現] の評価

[思考・判断・表現] ①
 「書くこと」において根拠の適切さを考えて説明や具体例を加え、自分の意見が伝わる文章になるように工夫している。(第2時)
 「十分満足できる」状況(A)
 構成や表現に、問いかけ、引用、反論への反論の根拠など、工夫をして意見文を書いている。
 「おおむね満足できる」状況(B)
 根拠として挙げた事例や具体例を数値や体験等を含め、意見文を書いている。
 「努力を要する」状況(C)
 (B)に達していない。

意見文を書くテーマを決め、自分の意見を書いた後、タブレット端末等で調べた情報を活用し、説得力がある意見文にするため、意見の根拠や具体例を記述した第2時に評価をしました。この時間に使用した学習シート③(資料2【生徒Eの記述】)で評価します。

生徒Eの記述のように、テーマを決め、自分の意見を持ち、根拠となる情報、具体例等が書けている状況を「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。今後、反論の根拠や反論に対する意見が説得力を増すようにするために調べた事実や数値等の情報を集めるよう指導し、(A)を目指すような声掛けをしました。

(B)と評価した点に加え、工夫しようと思うこと(資料2青枠部)を具体的に書き、集めた情報を選択し、適切に生かしている状況を「十分満足できる」状況(A)と判断しました。指導に生かす評価については、意見は書けていても、根拠や具体例が書けていない生徒を「努力を要する」状況(C)と判断し、そのように考えた理由を尋ね、調べた内容を活用して根拠として挙げるように指導し、「おおむね満足できる」状況(B)に近付くようにしました。



資料2【生徒Eの記述】

[思考・判断・表現] ②

「書くこと」において読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(第4時)

「十分満足できる」状況(A)

友達の助言を基に、自分の文章のよい点を活用し、改善点については修正し、助言以外の部分も見直し、全体的によくするように工夫している

「おおむね満足できる」状況(B)

色ペンで書かれた友達の助言を基に、自分の文章のよい点は活用し、改善点については、修正している

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

グループ内で相互交流を行った第4時に評価しました。仕上げた意見文を、友達と交流し、赤ペン(修正点や疑問点)と青ペン(よかったところ)で書き込んだワークシートを基に、推敲した意見文で評価します。

【推敲前 学習シート④】

具体的にしてみると再生可能エネルギーを使った発電の排出量は 20g-co₂/kWh なのに対して、火力発電は 900g-co₂/kWh も排出しています。しかも日本のほとんどが化石燃料を使った発電で電力を生み出しています。今の時代、^{※1}クーラーがあるから温暖化が進んでも大丈夫と思う人もいるかもしれません。でも、地球温暖化は、気温の上昇だけでなく、海面の上昇や異常気象の発生、その他いろいろな問題が伴ってきます。これらすべて深刻な問題です。このことから、再生可能エネルギーを使った発電を、温室効果ガスを排出しにくい車を世界中で使うことで地球を大きく変えることができると思います。科学技術の進歩だけでなく地球を守ることも大事だと考えます。

アドバイスを受けて推敲



具体例が多すぎて主張が少なく弱い感じになっている。(Fより)

解決方法をもっと具体的に書いた方がよい。(Gより)

【推敲後 学習シート⑤】

より具体的にしてみると再生可能エネルギーを使った発電の排出量は 20g-co₂/kWh なのに対して、火力発電は 900g-co₂/kWh も排出している。日本の発電は、ほとんどが火力発電で補っている。このことから僕は再生可能エネルギーを使った発電を日本の主な発電にすることと、温室効果ガスを排出しにくい車を世界中で使うことが大事だと考える。今現在、火力発電がなくなってしまうと日本の発電量はぐっと下がってしまう。しかし、今後の地球のことを考えると^{※2}火力に頼らず、再生可能エネルギーに変えていくことが必要なのではないかと思う。また、車も最近は電気自動車や水素自動車の開発が進んでいる。^{※3}これからの地球のために科学技術の発展と共に、地球を守ることも大切にしていかなければいけない。

資料3 生徒Xの学習シート

生徒Xは、生徒Fから「具体例が多すぎて主張が少なく弱い感じになっている」とアドバイスをもらい、【推敲前 学習シート④】※1を削除して、【推敲後 学習シート⑤】※3を主張として加えていることが分かります。また、生徒Gから「解決方法をもっと具体的に書いた方がよい」とアドバイスをもらい、【推敲後 学習シート⑤】※2の記述を加えています。赤ペンで受けた友達の助言を基に修正しているので「おおむね満足できる」状況(B)と評価しました。

(B)の状況に加え、青ペンで挙げてもらったよさ、また他の部分も含めて更によくしようと修正し

た意見文を「十分満足できる」状況（A）と評価しました。

指導に生かす評価としては、意見とその理由や根拠が適していない生徒、書けていない生徒を「努力を要する」状況（C）とし、前時までの学習シートや学習のてびきを確認させ、書くように指導し、「おおむね満足できる」状況（B）に近付くようにしました。

(3) 「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「主体的に学習に取り組む態度」

学習計画に沿って、根拠や具体例の適切さについて粘り強く検討し、意見を明確にしたり、表現を工夫したりして書こうとしている。（第1時～第5時）

「十分満足できる」状況（A）

（B）に加えて、自身の課題に対し、具体的な手立てを取り、より説得力のある意見文を書こうと工夫している。

「おおむね満足できる」状況（B）

自身の課題を把握し、意見文を書く際、適切な根拠や具体例を挙げて意見文を書こうとしている。

「努力を要する」状況（C）

（B）に達していない。

「学習の調整」の側面の評価は、意見文を仕上げている様子と次ページ資料4赤枠部を用いて行いました。生徒Yは、第2時の記述から、第1時に学習した内容を生かして具体的に記述し、自身の課題を明確にして今後の手立て等を記述しているので、単元のねらいを理解し、学習を自ら調整して活動できていると捉え「十分満足できる」状況（A）と判断しました。

「粘り強さ」の側面は、意見文を仕上げている様子と次ページ資料4赤枠部を用いて行いました。生徒Yは、第3時の記述から、課題を把握し、根拠に挙げる反論についてもっと調べたいという思いを抱いていると捉え、「おおむね満足できる」状況（B）と判断しました。（B）の状況に加え、他の表現も工夫し、説得力が増すように努力している姿とそれに合った記述がある第4時を「十分満足できる」状況（A）と判断しました。

意見に対する根拠や具体例等を挙げて意見文を書くことができなかった生徒はいなかったため、「努力を要する」状況（C）と判断する生徒はいませんでした。

自分の考えをもち、説得力のある意見文を書こう

組号

学習課題
この単元では、「環境問題」について自分の意見を持ち、意見の根拠となる情報を選び、構成を工夫して意見文を書く学習をします。課題は、自分の意見とつながる情報を選択し、自分の意見で相手を説得できるような文章を書くことです。

振り返る	広げる・深める				つかむ・知る	時間 月日					
	5		4		3		2		1		
	12月	17日	12月	15日	12月		10日	12月	9日	12月	7日
<p>○それぞれの意見文の相互評価をする。 ○学習を振り返り、身に付いた言葉の力について考える。 【友達の意見文を読んで自分に必要なものや友達の良いところを見つける】</p>	<p>○グループで交流し、意見文を推敲する。 【友達にアドバイスをもらって清書に生かす】</p>	<p>○構成を考えて意見文を書く。 【自分のまとめたデータをもとに意見文を書く】</p>	<p>○テーマに対して自分の意見をもつ。 (共感・納得・疑問・反論) ○根拠となる具体例やデータをまとめる。 【テーマをもとに意見文のデータをまとめる】</p>	<p>○学習課題を知り、学習の見通しをもつ。 ○身近にある「意見文」について知る。 ○二つの意見文から説得力のある意見文を書くポイントを探る。 【意見文を書くためのポイントを見つける】</p>	<p>学習内容(○)と自分のめあて【】</p>	<p>学んだことや考えたこと</p>					
<p>二つの意見文を書いてみて、全体的には一つ目がよくできたけど、二つ目も一つ目の失敗を生かして書いたのが、良かったと思う。</p>	<p>二つの意見文を書いてみて、全体的には一つ目がよくできたけど、二つ目も一つ目の失敗を生かして書いたのが、良かったと思う。</p>	<p>例示はうまく使えたけど、反論があまり書けなかったのが、もっと調べてチャレンジしたい。</p>	<p>引用の資料が無かったので、テーマと意見をまとめました。予想される反論を書くのが難しいです。家で資料を集めてみようと思います。</p>	<p>具体例やそれに基づいた効果、事実を述べると説得力が増す。意見を最後に書くこと、反論を想定して書くことが大事だと分かった。</p>							

粘り強さ 粘り強さ 学習の調整

この単元を通して身に付けた言葉の力
しっかりと情報を使うことや具体例の出し方、引用の書き方、説得力をもたせる工夫の仕方

どのような場面でそれを生かせるだろう？
これから文章を書く時、将来の仕事で説得力をもたせる必要がある時。相手を納得させる時。

資料4 【生徒Y学習計画表記述】

事例3 キーワード…「話すこと・聞くこと」の評価, 目的や相手に応じて話す

1 単元名 「目的や相手に応じてスピーチをしよう」
 教材名 「場面に応じて話そう」(東京書籍)

2 内容のまとめり
 第3学年

[知識及び技能] (1)言葉の特徴や扱い方に関する事項
 [思考力, 判断力, 表現力等] 「A話すこと・聞くこと」

3 単元の目標

- (1) 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し, 適切に使うことができる。
 [知識及び技能] (1)エ
- (2) 多様な考えを想定しながら材料を整理し, 伝え合う内容を検討することができる。
 [思考力, 判断力, 表現力等] A(1)ア
- (3) 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫することができる。
 [思考力, 判断力, 表現力等] A(1)ウ
- (4) 言葉がもつ価値を認識するとともに, 読書を通して自己を向上させ, 我が国の言語文化に関わり, 思いや考えを伝え合おうとする。
 「学びに向かう力, 人間性等」

4 生徒に提示する学習課題

この単元では, 目的や相手に応じて, 話す内容や適切な言葉遣いなどを考えて話す力を身に付ける学習をします。課題は, 目的や相手に応じて内容や話し方を選択して, スピーチをすることです。

5 本単元における言語活動

目的や相手に応じて話す内容や言葉を選択し, スピーチを行う。

(関連する言語活動例: [思考力, 判断力, 表現力等] A(2)ア)

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し, 適切に使っている。(1)エ)	①「話すこと・聞くこと」において, 多様な考えを想定しながら材料を整理し, 伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ②「話すこと・聞くこと」において, 自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ)	① <u>自分の考えが分かりやすく伝わるように, 粘り強く表現を工夫し, 学習計画に基づいてスピーチに取り組もうとしている。</u> ※ <u> </u> 部…粘り強さ <u> </u> 部…自らの学習の調整

7 単元の指導と評価の計画（3時間）

時	学習活動	指導上の留意点	評価規準・評価方法等
1	<p>○教師のスピーチモデルを聞いて、目的や相手に応じた話し方について考え、学習課題を知る。</p> <p>○提示されたスピーチ原稿について、二つの観点で見直し、話す内容を選ぶ。 ・何を伝えたいのか [目的] ・誰に伝えたいのか [相手]</p> <p>○選んだ内容について、二つの観点で見直す。 ・相手は何を知っているか ・分かりにくい言葉はないか</p> <p>○目的や相手に応じて、話す内容や言葉を選ぶ際の注意点を確認する。</p>	<p>・バッドモデルとグッドモデルの違いに着目させることで、学習の見通しがもてるようにする。</p> <p>・目的や相手に応じたスピーチとはどのようなものか捉えさせるために、あらかじめ用意したスピーチ原稿について、観点に沿って見直しをさせる。</p> <p>・必要に応じて見直すことができるように、ワークシートにまとめさせる。</p>	<p>ここでは、「記録に残す評価」のみを位置付けているが、学習内容を確実に習得できるようにするため、「指導に生かす評価」を単元を通して適宜行う。</p> <p>本時においては、記録に残す評価は行わないが、学習計画表の振り返りの欄に、自身の課題を記述させ、学習の調整の側面を評価できるようにしておく。</p>
2	<p>○スピーチを行う目的と、相手を確認する。 ・大人を対象として、自転車保険への加入を勧める ・小学3年生を対象として、自転車の安全運転を呼び掛ける</p> <p>○提示された材料の中から、目的や相手に応じて話す内容を選択する。</p> <p>○相手の理解に応じて、内容を見直す。</p> <p>○スピーチの練習をする。</p>	<p>・目的と相手が異なる二つの場面を想定して、スピーチに取り組みさせる。</p> <p>・必要な材料を判断させるために、提示する材料には、どちらのスピーチにも使える材料と不要な材料を含めておく。</p> <p>・相手の理解に応じたスピーチにするために、特に、小学3年生対象のスピーチにおける言葉を見直させる。</p> <p>・机間指導をしながら、敬語の使い方、語句の選択の仕方を中心に助言を行う。</p> <p>・必要に応じて、スピーチメモを用意させる。</p>	<p>[思考・判断・表現] ① ワークシートの記述 (p. 27 資料 1, 2) ・目的や相手に応じてふさわしい内容を選択しているか評価する。</p> <p>[主体的に学習に取り組む態度] ① 観察, 学習計画表の記述 (p. 29 資料 3) ・粘り強く、スピーチの準備に取り組んでいるか観察する。 ・自身の課題を把握し、スピーチの見通しをもつことができたか確認する。</p>

3	<p>○スピーチを行い，相互評価を行う。</p> <p>○学習を振り返って，単元で身に付けた力を確かめる。</p>	<p>・身に付けた力を実生活で生かすことができるようにするために，具体的な活用場面について考えさせる。</p>	<p>[知識・技能] ① スピーチの様子を撮影した動画 ・敬語を適切に使って話しているか評価する。</p> <p>[思考・判断・表現] ② スピーチの様子を撮影した動画 ・相手に応じて，ふさわしい語句を選択して話しているか評価する。</p>
---	---	---	--

8 観点別学習状況の評価の進め方

(1) [知識・技能] の評価

[知識・技能] ①

相手や場に応じた言葉遣いを理解し，適切に使っている。(第3時)

「十分満足できる」状況(A)

(B)に加えて，大人を対象としたスピーチにおいて，丁寧語だけでなく，謙譲語や尊敬語も適切に使って話している。

「おおむね満足できる」状況(B)

丁寧語を適切に使って話している。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

本単元では，「大人を対象として，自転車保険への加入を勧める」場面と，「小学3年生を対象として，自転車の安全運転を呼び掛ける」場面を想定してスピーチを行いました。公の場で話す場合，小学3年生が相手であっても丁寧語を使って話す必要があるため，スピーチ場面での敬語の使い方に着目し，丁寧語を適切に使って話しているものを「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。

また，大人(保護者)を対象とするスピーチにおいて，尊敬語や謙譲語を使って話しているものについては，「十分満足できる」状況(A)と判断しました。一方，小学3年生を対象としたスピーチで，「気を付けようね」など，丁寧語を使わずに話しているものを「努力を要する」状況(C)と判断し，相手だけで言葉遣いを判断するのではなく，場面に応じて言葉を選ぶよう指導しました。

(2) [思考・判断・表現] の評価

[思考・判断・表現] ①

「話すこと・聞くこと」において，多様な考えを想定しながら材料を整理し，伝え合う内容を検討している。(第2時)

「十分満足できる」状況(A)

(B)に加えて，内容を補うために，自身が考えた材料を付け足している。

「おおむね満足できる」状況(B)

目的や相手に応じて，適切な材料を選択している。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

第2時のワークシートの記述を評価しました（資料1，資料2）。

〔大人を対象としたスピーチメモ〕	〔小学3年生を対象としたスピーチメモ〕
<p>皆さんは、自転車保険に加入していらつしやいますか。佐賀県はまだですが、近年、自転車保険を義務付ける自治体が増えています。自転車事故は、年々減少してはいますが、事故は、誰にでも起きる可能性があります。もしもの時に備えて、皆さんも自転車保険に入っただけではいかがですか。</p>	<p>さいきん、自転車の事故は交差点などで起きる「出会い頭の衝突」が一番多くて、約半数を占めています。右や左に曲がるときも危ないので、交差点や角を曲がるときは気をつけましょう。</p>

資料1【生徒Lのワークシート】

生徒Lは、「大人を対象として、自転車保険への加入を勧める」スピーチでは、「自転車保険を義務付ける自治体が増えていること」を、「小学3年生を対象として、自転車の安全運転を呼び掛ける」スピーチでは、「自転車事故の原因」を選択していました（部の記述より）。スピーチメモの内容と照らし合わせて、目的や相手に応じて話す内容を適切に選択できていると考えられたため、「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。

また、生徒Mは、小学3年生を対象としたスピーチで、「自転車事故の原因」と「自転車事故の具体例」を選択していました。部のように、提示された具体例に加えて、自身の体験を具体例として加えていたため、「十分満足できる」状況(A)と判断しました。

一方、「自転車の種類」や「自転車の歴史」など、今回のスピーチで取り上げる内容として適切でない材料を選択しているものを「努力を要する」状況(C)と判断し、スピーチの目的にふさわしい内容を選んでるか再確認させることで、「おおむね満足できる」状況(B)に近づくようにしました。

<p>今から、自転車の安全について話をします。最近、小学生が自転車で人にぶつかり、たくさんお金を払わなければならなかった事故が起きました。安全確認が足りなかったことが原因です。また、自転車事故は、交差点などでの衝突も多いそうです。私も角を曲がってきた自転車とぶつかりました。事故にあわないように、安全に自転車に乗るようにしましょう。</p>
--

資料2【生徒Mのワークシート】

[思考・判断・表現] ②

「話すこと・聞くこと」において、自分の考えが分かりやすく伝わるように表現を工夫している。(第3時)

「十分満足できる」状況(A)

難しい語句を、平易な言葉に言い換えるだけでなく、補足をしながら話している。

「おおむね満足できる」状況(B)

難しい語句を、平易な言葉に言い換えて話している。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

第3時のスピーチを記録した動画を用いて評価しました。

生徒Nは、「出会い頭の衝突」を、「別々の方向から来て、気付かずにぶつかる」と言い換えてスピーチを行いました。これは、小学3年生には難しいと思われる語句を平易な言葉に言い換えていると判断できることから、「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。

また、平易な言葉に言い換えただけでは分かりづらいと考えた生徒Oは、「出会い頭の衝突」というところで、自身が書いた図を用いて説明を補足していたことから、「十分満足できる」状況(A)と判断しました。

一方、小学3年生には難しいと思われる言葉をそのまま用いているものを「努力を要する」状況(C)と判断しました。このような生徒には、聞き手にとって難しい言葉はなかったか、振り返りを行わせ、今後に生かすよう助言しました。

(3) [主体的に学習に取り組む態度] の評価

[主体的に学習に取り組む態度] ①

自分の考えが分かりやすく伝わるように、粘り強く表現を工夫し、学習計画表に基づいてスピーチに取り組もうとしている。(第1時、第2時)

「十分満足できる」状況(A)

自身の課題を把握して、スピーチで気を付けたいことを適切に記述し、相手に伝わる表現を考えながらスピーチの練習を繰り返している。

「おおむね満足できる」状況(B)

スピーチで気を付けたいことを適切に記述し、相手に伝わる表現を考えながらスピーチの練習を行っている。

「努力を要する」状況(C)

(B)に達していない。

学習の調整の側面の評価は、学習計画表の1時目、2時目の振り返りの記述を用いて行いました。

例えば、生徒Xは、第1時の振り返りにおいて、「目的や相手に応じて話すことは難しいなと思いました」と、自分の感想を記述しているだけでした。しかし、第2時の振り返りにおいては、「大人には、特に敬語に気を付ける。後輩に対しては、分かりやすい言葉を使って話したい」と、単元のねらいを踏まえた記述が見られたため、「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。

また、生徒Yは、1時目の振り返りでは、単元のねらいと結び付けて、自身の語句の選び方についての課題を記述しています（資料3の1時目）。そして、2時目の振り返りでは、 部のように記述しており、相手によって内容を工夫する必要があるということを理解していると捉えました（資料3の2時目）。これらの記述から、生徒Yは自身の課題を適切に把握し、単元のねらいを理解して活動していると考えられるため、「十分満足できる」状況(A)と判断しました。

一方、「顔を上げて話したい」「聞き取りやすい声でスピーチしたい」など、今回の単元でのねらいと異なる振り返りだけを記述しているものについては、「努力を要する」状況(C)と判断しました。

粘り強さの側面の評価は、主に、2時目の学習活動の様子を観察して評価を行いました。

例えば、3時目のスピーチに向けて、話す内容を選択したり、言葉遣いを考えたりして、スピーチ練習に取り組んでいるものを「おおむね満足できる」状況(B)と判断しました。また、辞書を使用して小学3年生に伝わる表現を考えたり、リハーサルをして友人にアドバイスを受けたりして、よりよいスピーチになるように工夫しているものを、「十分満足できる」状況(A)と判断しました。練習回数等に差はあったものの、スピーチ練習に取り組めなかった生徒はいなかったため、「努力を要する」状況(C)と判断する生徒はいませんでした。

〔1時目〕			〔2時目〕		
気をつけたい。	てしまったりしていたから、そこを	初心者の人に専門用語を使って話し	はわかりやすい言葉を使った。	小学生に向けての文章をつくる時	大人に向けての文章をつくる時は、

資料3

Q 1 毎時間、3観点全てについて評価しなければならないのでしょうか。

A 日々の授業の中では、生徒の学習状況を把握して指導に生かすことに重点を置きます。「知識・技能」「思考・判断・表現」の記録に残す評価は、毎回ではなく、原則として単元のまとめごとにそれぞれの実現状況が把握できる段階で評価を行います。評価する時間、評価する材料、評価方法などを精選しておく必要があります。詳しくは本資料（p. 9, 10, 17, 18, 25, 26）を参考にしてください。

Q 2 話すこと・聞くことの評価はどのように評価するのでしょうか。

A 「話すこと」については、スピーチ原稿等の記述と生徒の実際のスピーチを評価資料として総合的に評価する方法があります。

「聞くこと」については、話の展開に注意しながら内容を聞き取って互いの考えを比較したり、聞き取った内容や表現の仕方を評価したりして、自分の考えを形成することが指導事項として示されています。評価する場合には、聞き取りメモ、インタビュー構成メモ等の記述内容と、話し手に対する質問や助言、意見、感想等を合わせて総合的に評価することができます。

「話し合うこと」に関する評価は、実際の協議や討論等の中での発言や司会者としての発言等が評価資料になります。その際、役割を交替させて評価の機会を設ける工夫が必要です。音声は、瞬間的なものであり、目に見える形での共有が難しいので、記録の方法を工夫する必要があります。例えば、タブレット端末等を録音、録画、観察のために活用することが考えられます。

評価の実際は、本資料（p. 24～）を参照してください。

Q 3 指導事項を網羅しながら指導と評価を計画的に進めるにはどのようにすればよいですか。

A 年間指導計画と合わせて次ページに示しているような「年間の指導と評価の計画」を作成することをお勧めします。○印は、当該単元で指導し評価する内容を表し、◎印は、特に重点的に指導し評価する内容を表しています。●印は、その単元で取り上げる言語活動例を示しています。

(年間指導計画表と評価計画を合わせた例)

		No	1	2	3	...	18	
第1学年	指導事項・言語活動例	単元名			物語の構成			
		指導時数	4	5	4		5	
		音声の働きや仕組みについて理解を深めること。		○				
		小学校学習指導要領第2章第1節国語の学年別漢字配当表（以下「学年別漢字配当表」という。）に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち、300字程度から400字程度までの漢字を読むこと。また、学年別漢字配当表の漢字のうち、900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使うこと。					○	
〔知識及び技能〕	特徴や使い方の扱い方	(1)	ウ	事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。		○		
			オ	比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うこと。				
			ア	原因と結果、意見と根拠など情報と情報との関係について理解すること。	○			
	我が国の言語文化	(2)	イ	比較や分類、関係づけなどの情報の整理の仕方、引用の仕方や出典の示し方について理解を深め、それらを使うこと。		○		
			ア	音読に必要な文語のきまりや訓読の仕方を知り、古文や漢文を音読し、古典独特のリズムを通して、古典の世界に親しむこと。				
			イ	古典には様々な種類の作品があることを知ること。				
	力・（思考力・判断力・表現力等）	A 「話すこと・聞くこと」	(1)	ア	目的や場面に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討すること。		○	
				オ	話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめること。			
				ア	紹介や報告など伝えたいことを話したり、それらを聞いて質問したり意見などを述べたりする活動。			
	〔思考力・判断力・表現力等〕	言語活動例	(2)	イ	互いの考えを伝えるなどして、少人数で話し合う活動。			
				（上記以外の言語活動）		●		
ア				目的や意図に応じて、日常生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすること。				
B 「書くこと」		(1)	イ	書く内容の中心が明確になるように、段落の役割などを意識して文章の構成や展開を考えること。				
			ウ	根拠を明確にしなが、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。	○			
			エ	読み手の立場に立って、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、文章を整えること。				
言語活動例		(2)	オ	根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。	○			
			ア	本や資料から文章や図表などを引用して説明したり記録したりするなど、事実やそれを基に考えたことを書く活動。		●		
			イ	行事の案内や報告の文章を書くなど、伝えるべきことを整理して書く活動。				
思考力		C 「読むこと」	(1)	ア	文章の中心的な部分と付加的な部分、事実と意見との関係などについて叙述を基に捉え、要旨を把握すること。			◎
				（上記以外の言語活動）			○	

指導事項をいつ、どの単元で指導するかを確認できます。

1年間で学習する単元を順に挙げています。

その単元で扱う指導事項、言語活動を挙げています。

参考資料

- ・ 文部科学省 『中学校学習指導要領解説 国語編』 平成29年7月
- ・ 国立教育政策研究所 『「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 中学校 国語』 令和2年3月
- ・ 文部科学省 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校等における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知） 別紙4 平成31年3月